

映画で見ると 昔の川崎

所蔵作品名品集

当館所蔵作品より、川崎市内でロケ撮影された映画を特集します。時代背景を色濃く反映した名作映画を通じて、川崎の昔の風景をご覧ください。



【どぶ】

どぶ

◎1.13[土] 11:30 / 21[日] 14:00

1954年 / モノクロ / 35mm / スタンダード / 111分

監督：新藤兼人 / 出演：乙羽信子、宇野重吉、殿山泰司、山村聰、菅井一郎、藤原釜足、中北千枝子、信欣三

川崎駅近くの鶴見川沿いにあった沼地“カッパ沼”には人々が肩寄せあって暮らすバラック小屋の集落があった。ある日、風変わりな女性が転がり込んでくる。社会の片隅で力強く生きていく人々の悲喜こもごもを描く。

愛すればこそ

◎1.13[土] 14:00 / 21[日] 11:30

1955年 / モノクロ / 35mm / スタンダード / 84分

監督：吉村公三郎（第一話）、今井正（第二話）、山本薩夫（第三話）

出演：（第一話）乙羽信子、（第二話）香川京子、（第三話）久我美子、山田五十鈴、山村聰

独立プロの三監督によるオムニバス映画。第二話〈とびこんだ花嫁〉では、川崎の工場に勤める青年のもとに、田舎の母が決めた花嫁候補の女性が突然上京してくる。工場群や川崎駅前が映し出される。

アッシィたちの街

◎1.14[日] 14:00 / 20[土] 14:00

1981年 / カラー / 35mm / ビスタ / 129分

監督：山本薩夫 / 出演：古谷一行、江藤潤、奥田瑛二、関根恵子、三國連太郎、乙羽信子、浅茅陽子

川崎で町工場を営む早坂家、長男は下請けから抜け出そうと夜遅くまで働いているが、次男は兄に反発して、工具や近所の若者たちとロックバンドの練習にかまけている。働く青年たちを主人公にした群像青春ドラマ。

この青春

◎1.14[日] 11:30 / 20[土] 11:30

1971年 / モノクロ / 35mm / シネマスコープ / 114分

監督：森園忠 / 出演：藤田弓子、村野武範、今福正雄、荒木道子、大出俊、鈴木良介

日本人の父を持つベトナム人少年ミンが、亡き父の骨を故郷に葬るため、日本に密航してくる。船員の紹介で川崎に住むシン子の家を訪ねたミンは警察に捕まるが、シン子は保釈金を払ってミンの望みを叶えようとする。

川崎市 市民ミュージアム

〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL:044-754-4500 FAX:044-754-4533

http://www.kawasaki-museum.jp 武蔵小杉駅から徒歩で約10分 / 溝の口駅からバスで約20分

※当館に専用駐車場はありません。お車でお越しの方は等々力緑地内駐車場(有料)をご利用ください。駐車料金ご利用の割引等はございません。



【アッシィたちの街】

2018年

1.13[土] 14[日] 20[土] 21[日]

	11:30	14:00
1.13[土]	どぶ	愛すればこそ
1.14[日]	この青春	アッシィたちの街
1.20[土]	この青春	アッシィたちの街
1.21[日]	愛すればこそ	どぶ

ホール客席数：270名 / 自由席 / 入替え制

※開場は15分前(混雑状況により開場時刻が早まることがあります)

【入場料金・1作品につき】

当日券：一般600円、高校・大学・65歳以上500円、小中学生400円
(未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)

【チケット販売時間 / 当日券のみ】

- 朝の販売時間は10:30～(12:30まで) ※午前・午後の2回分とも販売
- 昼の販売時間は13:00～(15:00まで) ※午後の1回分のみを販売